



(1次元)抗菌筐体レーザスキャナ

NL2001U

～ 設定事例集 ～

Ver 2.0

日栄インテック株式会社

目次

出荷時設定.....	3
GS1-128 の AI を括弧でくくって出力	4
GS1-128 の AI を取り除いて出力	5
GS1-DataBar(RSS)の AI を取り除いて出力.....	6
ターゲットモード.....	7
紙面検知	8
反転バーコードの読取り	9
データの桁数を付加して出力	10
バーコード種別ごとのコード ID.....	11
デコード多重チェック	12
自動 CapsLock モード.....	13
CapsLock ON.....	14
日本語入力中に半角出力を.....	15
ブザー音の長さの設定.....	16
起動音なし.....	17
AS400 実行キーを右 CTRL キーで代用.....	18

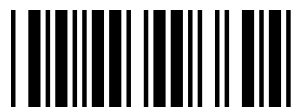
出荷時設定



設定開始



USB キーボード I/F



日本語キーボード



設定終了

GS1-128 の AI を括弧でくくって出力

【内容】

GS1-128 (UCC/EAN-128) を読んだとき、AI (アプリケーション識別子) を括弧でくくって出力する機能です。

【活用例】

GS1-128 では、データ連結の順番を入れ替えることができます。この機能を使うことで、どんな順番でバーコード化されていても、PC 側のシステムで AI を判別してデータ種別ごとに蓄積することができます。



(01) 04560151184005 (10) 200809 (21) LU002001

商品コード(01):	04560151184005
ロットNo(10):	200809
シリアルNo.(21):	LU002001

<アプリケーションソフト>

入力されたデータの、括弧内の値を判断して自動で所定の項目に入力してくれるデータ入力フォーム

データ連結の順番が入れ替わっていても、指定の入力欄に振り分けて入力したい。

設定例



設定開始



コード 128 読取り許可



(AI を括弧でくくって出力)



設定終了

GS1-128 の AI を取り除いて出力

【内容】

GS1-128 (UCC/EAN-128) を読んだとき、AI (アプリケーション識別子) を取り除いて、データごとに区切り文字を付加して出力する機能です。小数点の指定があるデータを読取った場合は、小数点を付加して出力します。

【活用例】

連結されているデータを、個別に Excel の別々のセルに入力したい場合。

設定例



設定開始



コード 128 読取り許可



区切り文字の設定



Tab



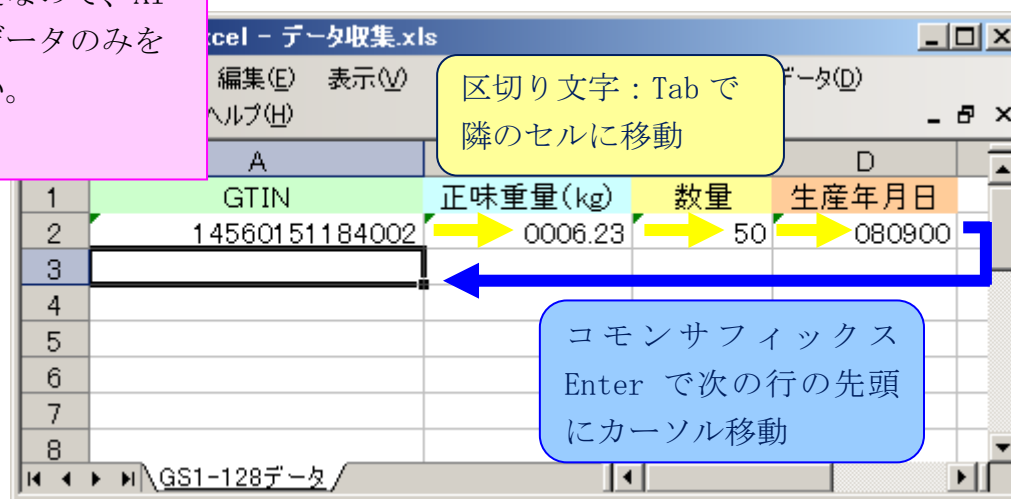
設定終了

GS1-128 の AI を取り除き、データ区切り文字を Tab にする設定



(01) 14560151184002 (3102) 000623 (30) 50 (11) 080900

社内用バーコードでデータの連結順は一定なので、AI を取り除いてデータのみを直接入力したい。



GS1-DataBar (RSS) の AI を取り除いて出力

【内容】

GS1-DataBar (RSS) を読んだとき、先頭の AI (アプリケーション識別子) “01” を取り除いて、データのみを出力する機能です。

【活用例】

商品コード (GTIN) データのみを収集したい場合。

(この機能は、AI=01 が暗黙的に付加される「RSS-14 系」および「RSS-Limited」でのみ有効です。「RSS-Expanded 系」および「EAN/UCC Composite」では、この機能は使用できません。)



14560151184002



(01) 0 4560151 18400 5

JAN、ITF-14 用にデザインされたシステムで、GS1-DataBar の GTIN データも入力したい。

GTIN (13または14桁) 0104560151184005

数量:

データ登録

レコード: 1 / 1

16桁だと
入力エラーに!

設定例



設定開始



DataBar-14 読取許可



GS1-DataBar の AI を
取り除いて出力



GS1-DataBar の
AI も出力



設定終了

ターゲットモード

【内容】

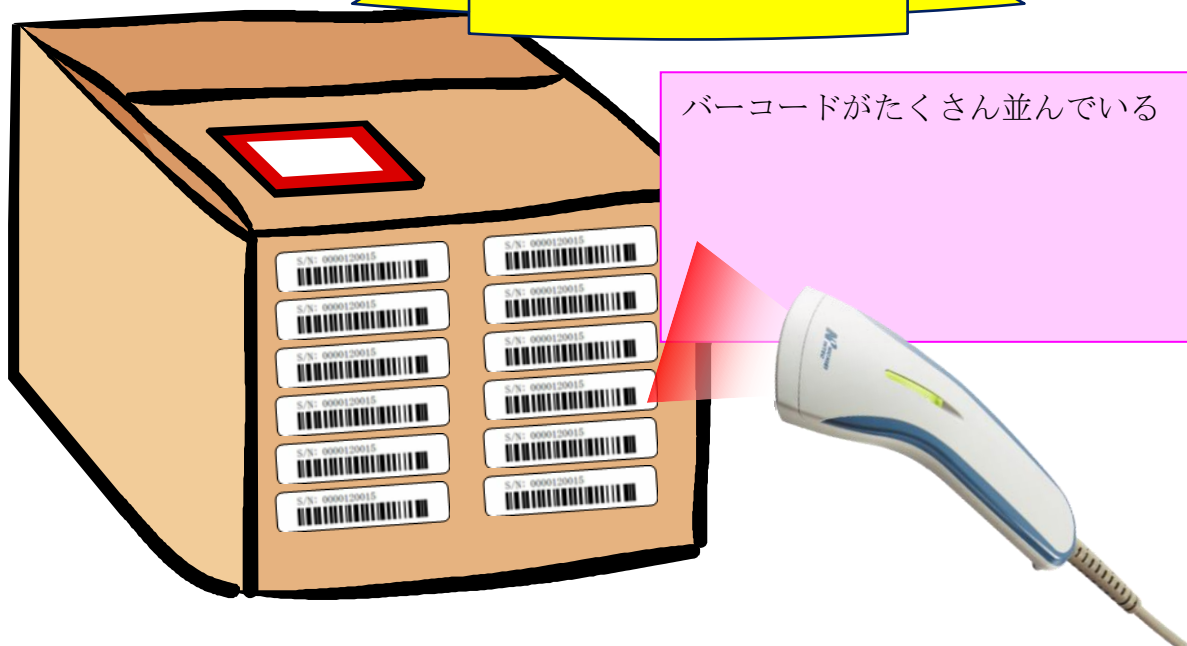
バーコードが密集しているときに、目的のバーコードに狙いを定めてから読取りを行なう機能です。

ターゲットモードでは、トリガボタンを押している間はレーザを照射し、読取りたいバーコード上でトリガボタンを放すと読取りを行ないます。

【活用例】

電子機器の集合梱包でシリアル番号を外装に貼ってある場合など、たくさん並んだバーコード同士の間隔が小さくて、狙いを定める前に間違えて別のバーコードを読取りしてしまう場合。

例) 外箱のシリアル



注意：「紙面検知」と同時に
設定しないでください。

設定例



設定開始



ターゲット読取モード有効
(上から2つ読む)



ターゲット読取モード無効
(上から2つ読む)



設定終了

紙面検知

【内容】

トリガーボタンを使わずに、バーコードをかざしたときに自動でレーザー照射して読取りを行なう機能です。

【活用例】

スタンドなどを使って、トリガーボタンを使わずにバーコードを読取りたい場合。

注意：「ターゲットモード」と同時に設定しないでください。

設定例



設定開始



紙面検知モード有効



紙面検知モード無効



設定終了

検知エリアに
バーコードを
かざすと……

レーザー照射して
バーコードを
読取ります

反転バーコードの読取り

【内容】

白黒が反転したバーコードを読むことができます。
初期設定状態でも、通常のバーコードだけでなく反転バーコードも読取可能ですが、反転バーコードのみを読む場合、反転専用の設定にすることで、読取りのレスポンスが向上します。

【活用例】

レーザーマーカでダイレクトマーキングされた反転バーコードの読取り。

反転バーコード専用の設定

設定例



設定開始



DataBar-Limited 読取許可

ネガバーコードをレスポンス良く読み取りたい

元に戻すための
設定バーコード
(反転タイプ)



設定終了



設定開始



通常バーコード読取り



設定終了

データの桁数を付加して出力

【内容】

読取ったバーコードデータの桁数を付加して出力することができます。桁数情報は、バーコードデータの前に付けることも、後ろに付けることもできます。

【活用例】

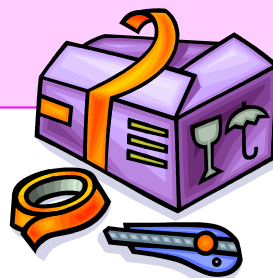
バーコード桁数ごとに項目が異なる使用方法。

「宅配便の出荷履歴管理をしたい」

送り状番号：コードバー12桁

扱い店番号：コードバー6桁

送り状番号、扱い店番号の2つのバーコードを、順番を気にせず読取って履歴収集したい。



a123456789012a



006652

<アプリケーションソフト>

入力されるコードの先頭文字（桁数情報）を判断して自動で所定の項目に入力してくれるデータ入力フォーム

出荷履歴管理システム：フォーム

送り状番号： (12桁)	123456789012
扱い店番号： (6桁)	006652

データ登録

レコード: 1 / 1

データ桁数をデータの前に付加する場合の設定

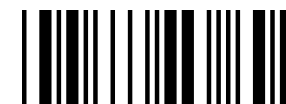
設定例



設定開始



全コードの
プリフィックス設定



桁数を付加
(1次元：2桁／2次元：6桁)



設定終了

バーコード種別ごとのコードID

【内容】

バーコードの種別ごとに任意の1文字または2文字をバーコードデータの前に付加することができます。

【活用例】

バーコード種別ごとに項目が異なる使用方法。

「コンタクトレンズの出荷時にロット管理をしたい」

商品型番：JAN13 → 先頭に **J** を付加する

ロット番号：EAN128 → 先頭に **EE** を付加する

宅配便送り状番号：NW-7 → 先頭に **NN** を付加する

例) EAN/JAN13 は先頭に **JJ** を付加

例

<アプリケーションソフト>

入力されるコードの先頭文字を判断して自動で所定の項目に入力してくれる
ロット管理システム

設定例



設定開始



種別 JAN13



J



J



設定終了

バーコードリーダーから入力されるデータ

JJ4560151184005

EE08032601

EE08032603

EE08032624

EE08032659

NNa123456789a

入出荷データ収集システム

出荷

出荷・入荷 切り替え

商品		
ロット		
No	商品番号	ロット番号
1		

0
個

CSVファイル出力

プログラム終了

【Space Key】 【BackSpace Key】

商品番号とロット番号に送り状番号を
ヒモ付けて登録



デコード多重チェック

【内容】

誤読しやすいバーコードラベルであった場合、数回のデコーディングを行うことで**誤読防止**になります。

回数は、デコード回数1回（多重チェックしない）～4回（3回チェック）から選択します。

デフォルトは1回（多重チェックしない）です。

【活用例】

画像化されたバーコードを引き延ばしたものを印刷したため、**白スペースと黒BAR**との対比が合わなくなって、認識しづらい

デコード回数を2回
(照合回数を1回)に
する場合の設定

設定例



設定開始



照合：1回

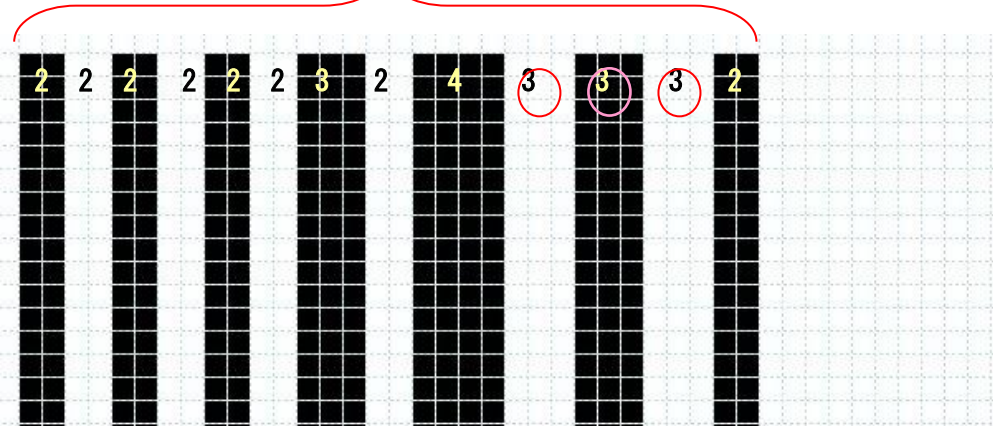
(デコード回数：2回)



設定終了



ここがあやしい！！
バーコードの太さが不均一なため、
誤読しやすい。



自動CapsLockモード

【内容】

キーボードのCapsLockがONでもOFFでも、大文字のバーコードデータは大文字で、小文字のバーコードデータは小文字で出力する機能です。

【活用例】

キーボードでCapsLockを切り替えて文字入力しながら、バーコード入力するケース。

設定例



設定開始



自動CapsLockモード



設定終了

例)

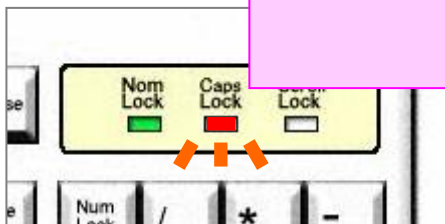


NICHIEI



nichiei

キーボード入力でCapsLockを頻繁に切り替えるが、バーコードは元データと同じように入力したい



元データ

CapsLock OFF (PC)

CapsLock ON (PC)

N I C H I E I

N I C H I E I

N I C H I E I

n i c h i e i

n i c h i e i

n i c h i e i

PCのCapsLockがONでもOFFでも、元データに忠実に入力される。

CapsLock ON

【内容】

バーコードリーダー内で、大文字・小文字を反転させる機能です。
大文字のバーコードデータを小文字に変換して入力したい場合に、
キーボードの CapsLock をONにする代わりに、バーコードリーダーの
内部で CapsLock をONに設定することで、

キーボード入力：小文字 (PC の CapsLock OFF)

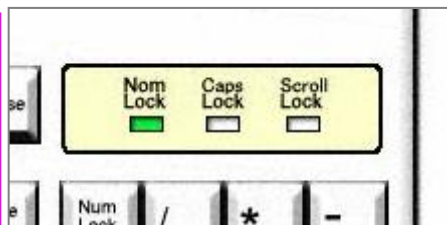
バーコード入力：大文字→小文字

というように、どちらも小文字で入力することができます。

【活用例】

キーボードで小文字入力しながら、大文字のバーコードデータも
小文字に変換してバーコード入力したいケース。

例) リーダの CapsLock を on に設定した場合



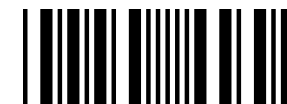
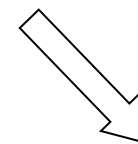
設定例



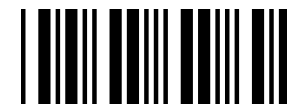
設定開始



CapsLock ON



CapsLock OFF



設定

元データ	CapsLock OFF (PC)	CapsLock ON (PC)
手入力： n i c h i e i	n i c h i e i	N I C H I E I
バーコード：N I C H I E I	n i c h i e i	N I C H I E I

PC の CapsLock は OFF のままで、大文字のバーコードデータを小文字に変換して入力したい。

日本語入力中に半角出力を

【内容】

キーボードで日本語文章をかな入力中にバーコードデータを入力しようとする、バーコードデータも全角になってしまいます。リーダからのバーコードデータのみ半角にする場合、この設定で可能になります。

設定の構造は、

全角／半角OFF → バーコードデータ → 全角／半角ON

となっています。

※) リーダの設定は英語キーボードにします。

【活用例】

EXCELなどで作文中にセルにバーコードデータを入力したい。

※) バーコード入力できるのは、アルファベットおよび数字となります。

(記号は入力不可)

バーコードリーダから
入力した半角文字

全角

全角

あいうえお 1234567 かきくけこ

さしすせそ 6767676 たちつてと

なにぬねの 9986641

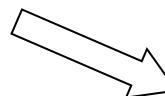
設定例



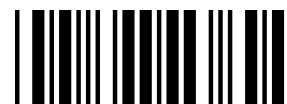
英語キーボード



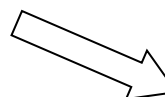
設定開始



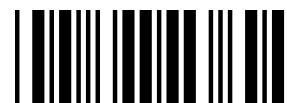
コモンプリフィックス



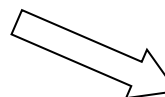
、(バッククオート)



コモンサフィックス



、(バッククオート)



設定終了

全英

ブザー音の長さの設定

【内容】

読み取りブザー音の長さを選ぶことができます。

デフォルトは 50 ミリ秒です。

【活用例】

読み取りブザー音を長くすることで、騒音の中での作業でも読取りを確認することができるようになります。

設定例



設定開始

例) 製造ライン



ブザー音長：400 ミリ秒



設定終了

騒音でブザー音が
分からない

起動音なし

【内容】

PCを立ち上げた時、リーダーがつながっていれば“ピロツ”と起動音が鳴ります。

この設定でリーダーに電源が入った時の**起動音なくす**ことが出来ます。

【活用例】

病院にて数十台のPCがAM8:00に一齐に起動するため、すべてのリーダーが一齐に鳴り出して患者さんに迷惑をかけた。

この設定でPC起動時が静かになった。

PCが朝8時と同時に一齐に立ち上がる

設定例



設定開始



起動音OFF

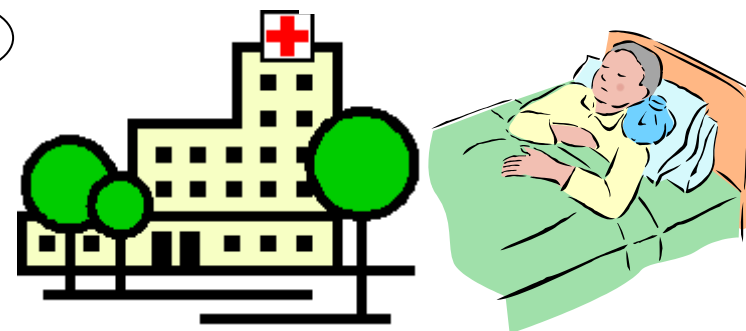
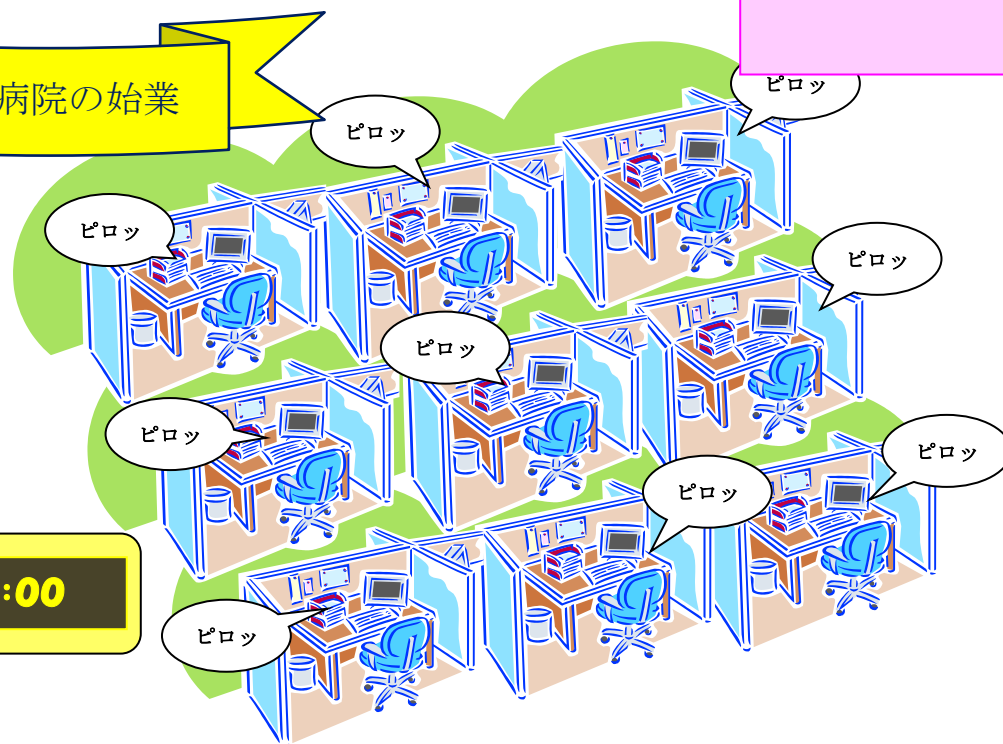


起動音ON



設定終了

例) 病院の始業



AS400実行キーを右CTRLキーで代用

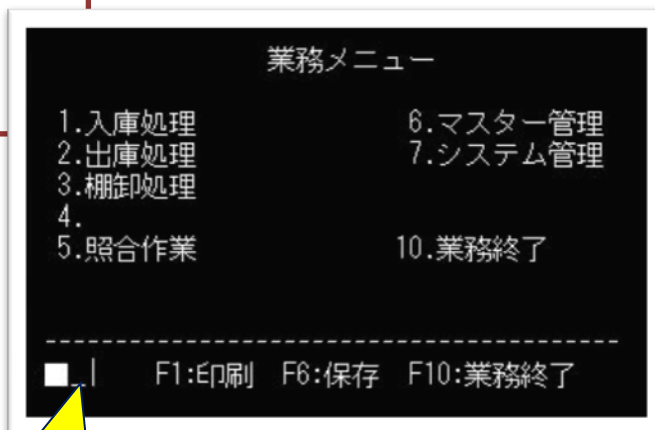
【内容】

AS400 (SYSTEM-i) におけるキー操作において、入力値確定のための実行キーを、DOS/Vキーボードでは右Ctrlキーで対応します。

本設定では、バーコード入力後に改行の代わりに右Ctrlキーを付加することで、リーダーでのバーコード入力確定を可能にします。

【活用例】

AS400の業務システム。



○×▲@⊕★実行



設定例



設定開始



全サフィックスクリア



実行 (右CTRL)
(上から2つ読む)



実行 (右CTRL)